

歴研よこはま

第七十八号



「平成」ありがとう。「令和」よろしく。
(千鳥ヶ淵の桜)

横浜歴史研究会

(題字・会長 木村 高久氏)
(写真・会員 山口 誠司氏)

第七十八号 目次

平成三十一年度を迎えて

会長就任に際して思うこと 会長 木村 高久 (1)

平成三十一年度定期総会開催・

新春発表会・新年祝賀会開催 広報 高尾 隆 (2)

特別寄稿

日本古代の高齢者 松尾 光 (4)

会員研究

間宮林蔵の先祖 間宮氏の流れ 竹村 紘一 (6)
 「大和守日記」

家康ひ孫大名の生活と人生〔そのⅡ〕 長尾 正和 (9)

初代・紋次郎の東京・横浜乗り込み〔後編〕 近藤 政次 (14)

甲州・海岸寺 清水 漠 (16)

細川忠隆・藩主の座と妻への愛 大瀬 克博 (18)

くじ引き將軍 足利義教 熊川 誠 (20)

やっってしまった元平親王 真野 信治 (21)

大伯皇女：胎児の船出 遠田千代吉 (26)

エッセイ

古歌をたずねて〔その八〕 丹下 重明 (30)

「行く水に数書く」はかない片想い 長谷川憲司 (32)

豊饒の海と輪廻転生思想雑感 武田 収功 (36)

麻と古代日本の祭祀 高野 賢彦 (40)

山里の風景、そしてキツネと草花 村島 秀次 (43)

目白の杜から〔そのⅠ〕学習院と新天皇 西沢 昭 (45)

「吾妻鏡」の台風と津波・高潮 西沢 昭 (45)

会員のひろば

俳壇「歴研よこはま」 (47)

藤盛 詔子・竹村 清繁・内山 昇・
 竹内 章二・高島 治・谷川 操一

歌壇「歴研よこはま」 (48)

高野 賢彦・竹村 紘一・市川 康夫

詩壇「歴研よこはま」 丹下 重明 (49)

エッセイ

そして：めぐり逢い 加藤 導男 (50)

色葉匂へど：歴史に想う事〔そのⅠ〕 宮下 元 (51)

車窓雑記〔そのⅢ〕 佐藤 猛夫 (52)

随想 私の川柳考 瀬谷俊二郎 (54)

手紙に見る独眼竜政宗の素顔 槇 良生 (55)

池の水を抜いたら：鎌倉にて 鈴木美恵子 (57)

例会発表の概要

〔平成三十年十月〜平成三十一年三月〕 編・記 (59)

平成三十年度下期行事報告

第7回横歴落語会 広報 高尾 隆 (61)

秋季歴史散歩 (61)

「知らなかつた横浜のこんな所・開港地横浜を歩く」 (61)

訃報 編・記 (63)

会員活動報告 編・記 (64)

受贈図書 名誉会長 加藤 導男 (64)

追悼の辞 敬愛する友・針靖人さんの死を悼む 顧問 渡会 裕一 (65)

会報第七十九号原稿募集 編・記 (66)

編集後記 編・記 (66)